※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「地学基礎」　（啓林館）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学が取り扱うものは顕微鏡サイズの化石、無限大とも思える宇宙空間、宇宙が誕生した遙か昔から太陽が死を迎える５０数億年の未来まで、人間の寿命やサイズからは及ばないものを扱います。それらの教材を学ぶことによって、様々な視点を持ち、地球上の生物である人類のあるべき姿に考えが及んでほしいと思います。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

・宇宙の誕生と地球の形成について観察，実験などを通して探究し，宇宙と惑星としての地球の特徴を理解させる。

・変動する地球について観察，実験などを通して探究し，地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたことを理解する。また，地球の環境と人間生活とのかかわりについて理解する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	１）地学的事物・現象についての概念や原理・法則などを理解することができる。 ２）実験・実習・観察などにおいて、適切な測定・記録・計算を行う事ができる。	１）身近な地学的現象を知識にリンクさせ、自然の事物・現象を科学的に捉えることができる。 ２）実験・実習・観察などから得られた結果を分析し、考察した結果を表現するなど、科学的に探究することができる。	1）プリントやノートをまとめる際、メモ書きや授業内容以外にも調べたことを追記している。 ２）授業や実験・実習・観察に積極的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地球	地球の概観 固体地球の表面・地球の形 地球の内部構造 地殻とマントル・核 プレートテクトニクスと地球の活動 地震	a：地学的事物・現象についての概念や原理・法則などを理解することができる。 b：身近な地学的現象を知識にリンクさせ、自然の事物・現象を科学的に捉えることができる。 c：プリントやノートをまとめる際、メモ書きや授業内容以外にも調べたことを追記している。学びを発展させ新たな発見に結び付けることができる	定期考査	定期考査 ノート提出 パフォーマンス課題	ノート提出 パフォーマンス課題
	活動する地球	火山活動と火成岩の形成	a：実験・実習・観察などにおいて、適切な測定・記録・計算を行う事ができる。 b：実験・実習・観察などから得られた結果を分析し、考察した結果を表現するなど、科学的に探究することができる。 c：プリントやノートをまとめる際、メモ書きや授業内容以外にも調べたことを追記している。学びを発展させ新たな発見に結び付けることができる			
二学期	大気と海洋	大気の構造 太陽放射と大気・海水の運動 日本の天気	a：大気構造を知り，気象現象の原因を，探究的に学習しようとする。 b：大気の水平方向循環を知り、熱輸送によって、天気の変化などが発生することが分かる。 c：プリントやノートをまとめる際、メモ書きや授業内容以外にも調べたことを追記している。学びを発展させ新たな発見に結び付けることができる			
	宇宙の構造	太陽系と太陽 恒星としての太陽の進化 銀河系と宇宙	a：太陽系と惑星についての知り，太陽系の天体運動について理解できる。 b：太陽が恒星のひとつであること，太陽の性質と特徴について考え，表現できる。 c：プリントやノートをまとめる際、メモ書きや授業内容以外にも調べたことを追記している。学びを発展させ新たな発見に結び付けることができる			
三学期	地球の歴史	地球史の読み方 地球と生命の進化	a：地形や地層，化石について観察や実験を行い，地球の歴史を知る方法及び特徴を知ろうとする。 b：時代と共に生物が多様化，環境に適応したかを考え，生命の重要性も判断できる。 c：プリントやノートをまとめる際、メモ書きや授業内容以外にも調べたことを追記している。学びを発展させ新たな発見に結び付けることができる			
	自然との共生	災害と社会 人間生活と地球環境の変化	a：日本の自然環境での災害と恩恵について関心を持つ。 b：地球環境問題について，国際協力、環境管理の方向を推論し，考えを表現できる。 c：プリントやノートをまとめる際、メモ書きや授業内容以外にも調べたことを追記している。学びを発展させ新たな発見に結び付けることができる			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度